

# 奈良大学図書館蔵北村信昭文庫 「大和日報」文芸記事細目

木田隆文\*・光石亜由美\*\*

The Nara University Library Kitamura Nobuaki Collection:  
On the Table of Contents of The “Yamato-Nippo” Column on Literature and Arts

Takafumi KIDA and Ayumi MITSUISHI

## 要 旨

奈良の文化人である北村信昭氏のご遺族よりご寄贈いただいた北村氏の遺品は、現在、北村信昭文庫として奈良大学図書館に収蔵されている。北村文庫には、長年、北村氏が編集にかかわってきた奈良の地域紙「大和日報」の文芸欄が保管されている。今回は、大正13年から昭和7年までの「大和日報」の文芸欄と、奈良の文学・文化に関する記事の細目を作成した。

【キーワード】 北村信昭、大和日報、奈良の文学

【Key words】 Kitamura Nobuaki, Yamato-Nippo, literature of Nara

## I 概要

### 1. 本研究の経緯

1999〔平成11〕年に逝去された、奈良の文化人である北村信昭氏のご遺族のご厚意によって、2000〔平成12〕年、北村氏の蔵書・遺品を奈良大学図書館に寄贈していただいた。その際、浅田隆本学名誉教授によって、蔵書・遺品の整理が進められ、その成果は「奈良大学紀要」、「奈良大学総合研究所所報」にまとめられた。

しかし、寄贈品にはまだ整理・分類できていないものもあり、2014〔平成26〕年度の学内研究助成（研究題目：「奈良大学図書館「北村文庫」の調査と「大和日報」文芸欄のデータベース化」）を受けて、学部生（安藤真琴・池添俊生・石田祐貴・井口隼人・大江耕平・絹川亜妙・坂下実香・神野耕史・戸田有美・中嶋宏修・西ゆうみ・福原愛・増田和也・松島ななせ・松本未来）の協力を得て、未整理の寄贈品を整理、調査した。

北村信昭氏の寄贈品は、①蔵書・雑誌類 ②手稿・手紙・ハガキ類 ③スクラップ・切り抜き類 ④写真・乾板類など多岐にわたる。①蔵書・雑誌類は図書館においてすでに大部分の整理が平成27年9月16日受理 \*文学部国文学科 准教授・\*\*文学部国文学科 准教授

行われ、「北村信昭文庫」(1582冊)として所蔵されている。②手稿・手紙・ハガキ類は浅田隆名誉教授によって、一部が調査された。④写真・乾板類に関しては、同じく2014〔平成26〕年度学内研究助成を受けた藤本悠講師(本学文学部地理学科)によって調査・整理が進められている。

## 2. 北村信昭氏略歴

北村信昭氏は1906〔明治39〕年7月28日に奈良市に生まれる。実家は猿沢池畔で写真業を営んでいた。この北村写真館を開業した祖父の北村太一氏は、1856〔安政3年〕、長州に生まれ、東京で写真技術を身に付けた明治開化期の写真師の一人であった<sup>1)</sup>。北村信昭氏は家業の写真業を継ぐかわら、大正末年ごろより詩作を始める。

1925〔大正14〕年に大和日報社編集部勤務し、編集作業に従事する。「大和日報」文芸欄では「卓上噴水」等のコラムを担当し、同文芸欄にも創作を発表している。また、映画欄も担当していたと思われる。詩人・歌人としては、同人誌「雲」「関西詩人」「浅茅」に参加、<sup>シブヤ</sup>閑野短歌会にも所属した。晩年は「奈良新聞」や「奈良県観光」にコラムを執筆している。特に「奈良新聞」に連載された『奈良いまは昔』(奈良新聞社、1983年)は奈良の郷土文化を知る上で貴重な情報を提供してくれる。

## 3. 「大和日報」について

「大和日報」の前身は「新大和」である。明治20年代、自由民権運動の時代を背景に、奈良には改進黨系の機関紙「大和新聞」と自由党系の機関紙「新大和」が対立していた。「新大和」は1891〔明治24〕年6月7日に新大和社より発刊された。1923〔大正12〕年6月に「大和日報」と改題し、1940〔昭和15〕年末をもって新聞社の戦時統合で終刊した<sup>2)</sup>。

## 4. 「大和日報」文芸欄について

「文芸欄」はほぼ日曜日三面に掲載された。前身である「新大和」の時代から文芸欄は充実していたが、奈良文芸研究会の幹部であった藤原徳次郎が入社後、「新大和」は「大和日報」と改題して紙面を刷新した際に、文芸欄を拡充したという経緯であるらしい。当時の編集は藤原徳次郎、米田雄郎、松村又一が担当していた<sup>3)</sup>。

文芸欄には、北園克衛(三重県出身、関東大震災後、奈良県都跡村<sup>みあとむら</sup>(現奈良市)に一時疎開。本名である「橋本健吉」の名前で寄稿)<sup>4)</sup>、浜本善矩(奈良県五條市出身)、野長瀬正夫(奈良県十津川村出身)、松村又一(奈良県明日香村出身)<sup>5)</sup>など奈良県にゆかりのある詩人の他、西条八十、清水信、室伏高信、阪中正夫らも寄稿している。

また、文芸欄には、読売新聞の「よみうり抄」を模した「につぼう抄」があり、奈良に設立された文学関係の団体の動向を知ることができる。例えば、「奈良新興歌人協会」「奈良県童話連盟」「奈良詩人会」「新作家協会」などが当時奈良で結成されていたことがわかる。「奈良詩人」、俳句雑誌「春日野」、「どんづりぼ」など奈良中心とした同人雑誌の動向もうかがえる。

その他にも、1924〔大正13〕年、武者小路実篤が宮崎県日向の新しい村から奈良に来住したことを期に、奈良県の青年知識人たちを中心に「新しい村奈良県支部」が設立されたことを伝える

紙面もある<sup>6)</sup>。

## 5. 資料の意義とこれからの課題

今回、細目を作成した「大和日報」文芸欄を通覧すると、大正末年から昭和にかけての奈良、関西の文壇状況が概観できるのみならず、奈良という地方都市の文壇と東京の中央文壇がどのように交流しているのか、文芸を介した地方―中央の交流史も見えてくる。「大和日報」文芸欄は地方紙の文芸欄という性質にとどまらず、奈良という地方から見た同時代の文壇状況を照らし出してくれる。

また、今回は採録対象外としたが、紙面からは奈良における映画や音楽に関する記事が多数見受けられる。文芸のみならず昭和戦前期における奈良の文化を総合的に考えるうえで、「大和日報」が有効であることを付言しておきたい。

北村氏の関心は、文芸にとどまらず、パラオの民族、エスペラント運動、外地の詩人たち等、多岐にわたる。今後も、北村文庫をもとに、奈良から世界へと発信された文化の動態を追っていききたい。

## Ⅱ 「大和日報」細目凡例

### 1. 採録の対象

- 本細目は、「大和日報」掲載記事のうち、奈良関係の文芸記事を採録したものである。
- 採録を行った「大和日報」は、奈良大学図書館「北村信昭文庫」所蔵のものを利用した。「北村信昭文庫」には、「大和日報」の原紙、204日分が所蔵されている。ただし、同文庫の「大和日報」は、氏の関心に沿った号のみが残されており、必ずしも全号残されているわけではない。概要でも述べたように、本研究は北村氏に対する人物研究の側面が大きい。そのため、資料体としての特色を理解するために、あえて他機関所蔵分で欠号を補うことはしていない。
- なお「大和日報」は奈良県立図書情報館・奈良女子大学等にも所蔵がある。それら機関所蔵分を利用した採録は、今後の課題としたい。

### 2. 採録記事の基準

- 「大和日報」の文芸欄は日曜夕刊第三面に掲載されており、本細目では主に同面からの記事を中心に採録した。ただし同面の記事であっても文芸以外の内容のものは採録対象外とし、同じく文芸記事であっても、奈良の文壇と関わりの薄いものについては対象外とした。
- 第三面以外の部分でも、奈良の文壇状況がうかがえる記事については適宜採録した。
- 連載小説については除外した。

### 3. 表記について

- 各記事は号単位・頁順にまとめて配列した。各号ごとに〔号数・年月日・和暦・掲載面〕の書誌情報を示し、ついで記事内容に関する〔分類1・分類2・文芸欄名・掲載記事名・執筆者名〕

を記した。

○分類は以下の項目を立てている。

分類1：文学・映画・美術・演劇・文化

分類2：小説・随筆・評論・詩・短歌・俳句・紀行・紹介・童話・脚本・コラム・記事

○戦前の新聞の慣行として、夕刊発行日が第一面の新聞名欄の下に記されるものと、各頁欄外上部に示されるものとで食い違っている。本細目の発行日時表記は、実際の発行日（第一面紙名欄下部の日付）に基づいて示している。

○掲載記事名だけでは記事内容がわかりにくいため、分類項目を設定して内容理解の便宜を図った。「分類1」は記事の内容、「分類2」は記事文章の種類を示している。ただし分類は採録者の恣意的な判断に拠るところが大きく、あくまで参考とされたい。

○「文芸欄名」は夕刊第三面に示されたコーナータイトルを記載した。名称に統一性がなく、記載されない欄があるのは、紙面に記載されたタイトルが一定しておらず、付されない回もあることによる。

○ ■は判読不明の箇所である。

○表記に関しては、基本的に新字に改めた。ただし、人名・地名などの固有名詞はその限りではない。

なお、本研究は2014〔平成26〕年度の奈良大学研究助成、研究題目「奈良大学図書館「北村文庫」の調査と「大和日報」文芸欄のデータベース化」の成果の一部である。

## 注

- 1) 桑田正三郎『月乃鏡』（桑田商会、1916〔大正5〕年）に、明治初期の写真師の一人として紹介されている。
- 2) 奈良県の新聞の歴史については奈良県立図書館のホームページに掲載されている「奈良県新聞略史」（[http://www.library.pref.nara.jp/digital\\_nara/newspaper/history](http://www.library.pref.nara.jp/digital_nara/newspaper/history) 2015年9月14日閲覧）を参照した。
- 3) 松村又一「大和文壇今昔（五）」（大和日報、1925〔大正14〕年8月24日）
- 4) 北園克衛の寄稿については、浅田隆名誉教授が「奈良大学図書館「北村信昭文庫」北園克衛初期詩篇及び初期未発表詩稿等」（「奈良大学紀要」、34号、2006〔平成18〕年3月）、「奈良大学図書館「北村信昭文庫」Ⅱ 北園克衛初期詩篇補遺ならびに北村宛諸氏書簡」（「奈良大学総合研究所所報」、15号、2007〔平成19〕年3月）において翻刻しているので、そちらを参照されたい。
- 5) 浅田隆「奈良大学図書館「北村信昭文庫」Ⅲ 奈良関連文学資料紹介 松村又一「大和文壇今昔」（「奈良大学紀要」、36号、2008〔平成20〕年3月）
- 6) 「新しい村」奈良支部については、浅田隆「奈良大学図書館「北村信昭文庫」Ⅳ 「新しい村」奈良支部関連資料」、奈良大学総合研究所所報、16号、2008〔平成20〕年3月）で翻刻されている。

奈良大学図書館蔵北村信昭文庫「大和日報」文芸記事 細目

号数	年/月/日	面	分類1	分類2	文芸欄名	掲載記事名	執筆者		
1183	1924/7/13	大正13	3	文学	童話		童話 愛子の夢	井上康文	
			3	文学	評論	文芸	排米問題と映画劇	仲木貞一	
			3	文学	短歌	文芸	[青葉集 米田雄郎選] 足尾銅山にて	森島清湖	
			3	文学	短歌	文芸	[青葉集 米田雄郎選] かげらふ	北村秋芭	
			3	文学	短歌	文芸	[青葉集 米田雄郎選] 踊りゆくむれ	熊谷直臣	
			3	文学	短歌	文芸	[青葉集 米田雄郎選] ふるさと	君子	
			3	文学	短歌	文芸	[青葉集 米田雄郎選] 梅の実	辻本文路	
			3	文学	短歌	文芸	[青葉集 米田雄郎選] たそがれ	荒木俊夫	
			3	文学	詩	文芸	田園抒情	野長瀬正夫	
			3	文学	記事	文芸	関西詩人協会生る		
			3	演劇	評論	文芸	劇壇の事二三	水谷紫竹	
			3	文学	書評	文芸	[紹介] かなりや(七月号・かなりや発行所)、つくばね(きさらぎ社)		
1360	1925/1/18	大正14	1	文学	随筆	日本文芸	入管の弟を送りて	木寅燕石	
1612	1925/10/5	大正14	3	文学	評論	日報文芸欄	関西詩人終刊号を読む	野長瀬正夫	
			3	文学	小説		かまきり	獨木船	
1659	1925/11/22	大正14	3	文学	紀行		出雲まわり	熊谷直臣	
			3	文学	随筆		[卓上噴水] 母について	吉田龍太郎	
			3	文学	記事		投稿者諸君に	文芸係	
			3	文学	詩		唐人笛	北村秋芭	
			3	文学	詩		小曲二篇	ふさ・あきた	
			3	文学	短歌		紅行燈詠草	笠井宥章	
1665	1925/11/29	大正14	3	文学	評論	日報文芸欄	秋夜漫言 詩の表現上に於ける仮名及漢字について	北村信昭	
			3	文学	詩	日報文芸欄	郷愁の花	小弘良吉	
1672	1925/12/6	大正14	3	文学	詩	文芸	[詩集号] (一) 懺れの心を抱く友に	吉田徳義	
			3	文学	詩	文芸	[詩集号] (一) 星の夜と遮けるエイ	岡田淑	
							文芸	[詩集号] (一) 淋しき心の中が	前尾川花
							文芸	[詩集号] (一) 思ひを垂れて	津山武雄
							文芸	[詩集号] (一) 秋の詩	不二
					文芸	[詩集号] (一) 山の上にて	山本和夫		
			3	文学	書評	文芸	[消息] 歌集空に祈る(武岡武夫著)、詩集ころ(吉田徳義著)、攪乱(第二輯・奈良市三條岡田方攪乱発行所)		
			3	文学	記事	文芸	別天樓氏歓迎句会		
10679	1925/12/13	大正14	3	文学	随筆	文芸	或る日の便り	平井いさむ	
			3	文学	詩	文芸	街の秋	堀口春路	
			3	文学	小説	文芸	ある日の彼	正木英	
			3	文学	コラム	文芸	[灰皿]	ドン・ピカロ	
			3	文学	短歌	文芸	緑若抄	笠井宥章	
			3	文学	紹介	文芸	[消息]「童話」(第九輯・日本童謡協会)、「文芸」(十一月号・文芸社)、「現代文芸」(十一月映画号、素人社)		
10686	1925/12/20	大正14	3	文学	戯曲	文芸	描かれし風景一戯曲小品	井戸口清二	
			3	文学	詩	文芸	土掘れば	西村岳村	
			3	文学	詩	文芸	展望	井上年春	
			3	文学	コラム	文芸	[コトバ] ショーベンハウエル 朔太郎		
			3	文学	記事	文芸	投稿者諸君に		
10693	1925/12/27	大正14	1	文学	俳句		[日報俳壇] 句屑	宇都羅	
			3	文学	戯曲	文芸	描かれし風景一戯曲小品(承前)	井戸口清二	
			3	文学	随筆	文芸	[スクラップ] 奈良の「ココロ」	堀口大学	
			3	文学	評論	文芸	巫山戯た感想(FOOLISH IMPRESSION)	西本洗	
			3	文学	記事	文芸	本欄愛読者諸君に	文芸欄編輯子	
10696	1926/1/2	大正15	1	文学	短歌		勅題 河水清	秋田ふさ樹	
			1	美術	随筆		画室漫語	立野雪郷	
10702	1926/1/10	大正15	3	文学	評論	文芸	詩神を思ふ	吉田徳義	
			3	文学	詩	文芸	平等を説く風	塙原坤	
			3	文学	書評	文芸	爐邊漫筆 武岡武夫氏歌集空に祈ること	熊谷直臣	
			3	文学	詩	文芸	ステーションにて	岡田淑	
			3	文学	コラム	文芸	ダビデのうた		
			3	文学	小説	文芸	小品 寒夜	平井いさむ	
			3	文学	紹介	文芸	[消息] 夜光虫(一周年記念号・名古屋詩学協会発行)、文藝(新年号特別号・文芸社発行)、群像(六輯・群像社発行)		

奈良大学紀要 第44号

			3	文学	紹介	文芸	[新刊紹介] 立憲青年一月号 (立憲青年社発行)	
10709	1926/1/17	大正15	1	文学	短歌	日報文芸	邦光社奈良部一月兼題 新年水	阪正臣大人・選
			3	映画	評論		奈良映画界と希望 経営者の常套興行打破 解説者の相互研究必要 自覚を要するファン 諸君	福野路火
			3	文学	童話	文芸	童謡港の日暮	酒井良夫
			3	映画	随筆	文芸	[卓上噴水] 昨年度外国映画思ひ出話	吉田龍太郎
			3	文学	詩	文芸	春子の詩	吉田徳義
			3	文学	短歌	文芸	里を後に見て	溝邊嘉笑
			3	映画	評論		映画戯談 ロスト・ワールドについて	北村信昭
10713	1926/1/21	大正15	1	文学	俳句	日報俳壇	タカムチ新年句会	河芙蓉・記
10716	1926/1/24	大正15	3	文学	評論	文芸	詩に於ける 自由と自由詩	磯田信夫
			3	文学	詩	文芸	童謡 雀の巣	酒井良夫
			3	文学	短歌	文芸	信貴詣で	水原青浪
			3	文学	詩	文芸	小曲 ほ、にふれたのは	水原青浪
			3	文学	評論	文芸	[独語] 勸題選歌について	綾華生
10720	1926/1/28	大正15	3	文化	記事		郡山文化倶楽部 役員決定	
10727	1926/2/4	大正15	3	文学	記事		県下の新進詩人 野長瀬正夫君 近く詩集を 発表	
10728	1926/2/5	大正15	2	文学	記事		宜芳吟社句会	
			3	文化	記事		浄教寺児童会 「みどり」刊行	
			3	映画	記事		[映画界] 奈良映画界の犠牲者 奥一郎クン帰 る 阪妻の「雄呂血」を携へて	
10730	1926/2/7	大正15	3	文学	随筆	文芸	北和遺跡廻り 病ましい魂の心の糧として 大師の心を尋ね巡る	秋田富紗樹
			3	文学	詩	文芸	桃色の太陽 府立高等女学校の春期陸上大運 動会にはシルクハチトの紳士金髪の貴婦人も 列席致された	橋本健吉
			3	文学	詩	文芸	季節の鼓動	木村緑朗
			3	文学	詩	文芸	お地場の夢	吉田徳義
			3	文学	評論	文芸	詩語としての日本語 種族と言語—詩人は言 葉を創造する	百田宗治
10736	1926/2/14	大正15	3	文学	評論	植原清見追悼号	一輪の花 故植原清見君のことども	北村信昭
			3	文学	評論	植原清見追悼号	植原清見君を偲びて 詩から映画の方面へ	酒井良夫
			3	文学	詩	植原清見追悼号	[遺稿集] さすらひ・月様・おくみ十七	植原清見
			3	文学	評論	植原清見追悼号	植原君を憶ふ	岡田淑
			3	文学	評論	植原清見追悼号	植原君を想ふ	荒木俊夫
			3	文学	評論	植原清見追悼号	植原君を憶ふ	水原青浪
			3	文学	評論	植原清見追悼号	この短章を Kさんの霊にささげて	平野千史夫
			3	文学	紹介		[新刊紹介] 郊外 (二月号・郊外社発行)	
10742	1926/2/20	大正15	3	映画	評論		[映画界] 映画は劇に非ず	仲木貞一
			3	文学	小説		[映画小説] 母様いづこ (二)	山本花雀
10743	1926/2/21	大正15	2	文学	小説		[映画小説] 母様いづこ (三)	山本花雀
			3	文学	評論	文芸	若人としての啄木の生活	松原かずを
			3	文学	詩	文芸	秋風の庭・わかいお月様	段塚青一路
			3	文学	コラム	文芸	ロダンのことば	
			3	文学	詩	文芸	[植原清見遺稿] 思ひめぐる・笛でも・丘に・ はかなき君・波路・よもぎの節句	植原清見
			3	文学	詩	文芸	愛の十字架	津山武雄
			3	文学	詩	文芸	晩秋の断片	匿名氏
			3	文学	詩	文芸	月夜・広告びら・朝寝・夜更け	奈師 前尾房太 郎
10749	1926/2/27	大正15	3	文学	紹介		[新刊紹介] 群萌 (二月号・群萌社発行)	
10750	1926/2/28	大正15	3	文学	評論	文芸	若人としての啄木の生活 (二)	松原かずを
			3	文学	詩	文芸	騎馬隊・公園異景— (好きな子供へ)	吉田龍太郎
			3	文学	詩	文芸	若き胸より	鯉江秀峰
			3	文学	詩	文芸	にげたうさぎ	涙花
			3	文学	記事	文芸	個人も生き全部も生きる 盛會を極めた武者 小路氏講演会 二十七日図書館開催 県男師 範講堂に於て	北村信昭
10751	1926/3/1	大正15	3	文学	脚本		[読者の領分] 映画脚本 (短篇) 感傷家 (一)	安田義次
10757	1926/3/7	大正15	3	文学	評論	文芸	[卓上噴水] シラノ・ド・ベルジュラック其他	吉田龍太郎
			3	文学	詩	文芸	熊野風物点景詩 丘	野長瀬正夫
			3	文学	詩	文芸	断章詩篇 (旧作より) かん月	梶井義夫
			3	文学	詩	文芸	中河原挽歌 美吉野グラウンド建設工事の犠 牲として葬る、この自然美に切なる執着を感 ず	米田英一

木田・光石：奈良大学図書館蔵北村信昭文庫「大和日報」文芸記事細目

			3	文学	詩	文芸	煩悶	前尾房太郎
			3	文学	紹介	文芸	〔紹介二つ〕砂丘（野長瀬正夫個人詩誌）、抒情文藝（第二輯 関西詩人協会発行）	徳義・龍太郎・信昭
			3	文学	評論	文芸	海外詩壇近事 叛逆的農民詩人 セルゲー・エセーニンの死	松村又一
10758	1926/3/8	大正15	3	文化	記事		新しき村奈良支部 第一回例会	
			3	文学	詩	日報文芸	春近し・春雨	前尾房太郎
10759	1926/3/9	大正15	3	文化	記事		何かこの土地から生み出したい 武者小路氏の講話 新しき村奈良支部例会席上にて	記者
10777	1926/3/28	大正15	3	文学	評論	日報文芸欄	「砂丘」に就いて 吉野の奥に住む詩人 野長瀬正夫君の著	秋田富紗樹
			3	文学	短歌	日報文芸欄	短歌	水原青浪
			3	文学	詩	日報文芸欄	早春の譜・焦燥の夜半	米田紫洋
			3	文学	評論	日報文芸欄	歌集「ならやま」とその著者	松村又一
10783	1926/4/4	大正15	3	文学	小説	文芸	海近くの家から（上）	井戸口清二
			3	文化	評論	文芸	文化の進路に就いて（五）	在東京・西村直輝
10789	1926/4/10	大正15	2	文学	記事		死んだ霞亭さんは土方をした事もある 苦しんだその少年時代 同氏の義兄に当たる秋元元高田署刑事は語る	
			3	文化	評論		文化の進路に就いて（十一）	在東京・西村直輝
			3	文学	紹介		〔新刊紹介〕法隆寺（池田谷久吉著）、青年文壇（四月号・青年文壇社）	
10797	1926/4/18	大正15	3	文学	小説	文芸	海近くの家から（下）	井戸口清二
			3	文学	詩	文芸	〔詩と歌と童謡〕短詩五篇	橋本健吉
			3	文学	詩	文芸	〔詩と歌と童謡〕或夜更け・朝の月・柳・池・断片	前尾房太郎
			3	文学	詩	文芸	〔詩と歌と童謡〕童謡 星の添乳・ほほづき	酒井良夫
			3	文学	詩	文芸	〔詩と歌と童謡〕短歌	荒木俊夫
			3	文学	詩	文芸	〔詩と歌と童謡〕馬酔樹	熊谷直臣
10804	1926/4/25	大正15	3	文学	評論	文芸	戦争と恋と馬鈴薯 グリフィスの「素晴らしい哉人生」に就いて	西本洗
			3	文学	随筆	文芸	春宵雑筆	熊谷直臣
			3	文学	短歌	文芸	無峯来る	荒木俊夫
			3	文学	随筆	文芸	病める日の窓より 私の親しき人々へ	秋田富紗樹
10811	1926/5/2	大正15	3	映画	評論		〔映画評論〕ステラ・ダラス	吉田龍太郎 北村信昭
			3	映画	評論		〔卓上噴水〕ステラダラスについて	吉田龍太郎
			3	映画	評論		戯影漫談 ステラ・ダラスを観る	北村信昭
			3	文学	詩		逝春小詩 春は何処に・私をすてた春・落花の賦・残花の名残・丘の木蔭に・青葉の枝	酒井良夫
			3	文学	短歌		さくらみの歌	秋田富紗樹
			3	文学	短歌		信貴のさくら	笠井春章
			3	文学	短歌		野風呂にて	清水たけし
			3	文学	詩		春光を浴びて・蒼白き月夜の幻想	米田紫洋
			3	文学	紹介		〔近刊の文芸誌〕抒情文藝（三輯・松村又一編輯）、ひ（第二号・新しき村）	
10812	1926/5/3	大正15	3	文学	評論		逝いたエレン・ケイ	室伏高信
			3	文学	書評		〔新刊紹介〕養鶏の成功（復興第一号・日本養鶏成功社、大関五郎通その二（大関五郎）	
10814	1926/5/5	大正15	3	文学	俳句		〔俳句〕春の雨	悲出
			3	映画	評論		ピーターパンを観て	岡純戈
			3	文学	書評		〔新刊紹介〕郊外（五月号・郊外社）、露（五月号・関西芸術新聞社）	
10818	1926/5/9	大正15	3	文学	小説		笛を吹いてゆく男 夜桜の街から	秋田富紗樹
			3	文学	詩		五月の感覚 美しき少年と共に歌へる詩	橋本健吉
			3	文学	詩		牡丹・五月の色採	熊谷直臣
			3	文学	短歌		白藤の花	清水たけし
			3	文学	詩		逝春小詩 空の青・君のすがた・雨の日ごと・明日の友・流るる青草・窓	酒井良夫
			3	文学	詩		来なかつた幸福	米田紫洋
			3	文学	評論		野長瀬正夫個人詩誌 「砂丘」第二号合評	吉田徳義 北村信昭
			3	文学	紹介		夜光虫（第二巻第一号・名古屋詩学協会）	
10825	1926/5/16	大正15	3	文学	随筆		五月のカレンダー 旅を思ふ心	野長瀬正夫
			3	文学	詩		〔詩二篇〕失恋・藤	山名徹
			3	文学	詩		五月	染井きよし

奈良大学紀要 第44号

			3	文学	詩	夜更けの机上	前尾房太郎
			3	文学	詩	山瑠璃草	太田まさし
			3	文学	評論	抒情文芸 第三輯詩壇の合評	吉田徳義 北村信昭
10832	1926/5/23	大正15	2	美術	評論	森田節斎と高田(上)	田村吉永
			3	演劇	評論	〔演劇評論〕宝塚国民座小感	加茂敏夫
			3	文学	詩	台湾の春・家庭	櫻木しのぶ
			3	文学	詩	人形・老婆・ピストル 劇的要素を含む詩型	橋本健吉
			3	文学	俳句	俳句	笹井七堂
			3	文学	紹介	〔新刊紹介〕逍遙選集(内容見本・逍遙選集刊行会)	
			3	文学	詩	ふるさとの山 酒井良夫詩集 憂ひ・過ぎにし日・桐の花・夕月・反省の壺・夜の悪魔・空の響・魂のふるさと・耳・爪・藤の丘・落日・層雲・細き指・黄な煙・今朝の秋・土に還る心	酒井良夫
			3	文学	小説	〔映画ストーリー〕悪魔の戯れ(六)	安田義次
10839	1926/5/30	大正15	3	文学	随筆	病日雑記 震火に呪はれた城崎の思出その一周年を迎えた今日	秋田富紗樹
			3	文学	紀行	紀行 宮津の一夜 添上郡農会一行	奥村綱次郎
			3	文学	詩	〔詩と歌の欄〕春への感謝・追憶・路	堀口詠三
			3	文学	短歌	〔短歌〕春を歩む	榛原暢
			3	文学	詩	くろーばー	その子
10846	1926/6/6	大正15	3	文学	評論	雑感 余技に就いて	吉田龍太郎
			3	文学	詩	月・暁の弧愁・逢ひ叟・初夏の相・丘・蚯蚓	米田紫洋
			3	映画	評論	〔映画雑感〕殴られるあいつ	北村信昭
			3	文学	小説	或る見合	柴田清郎
			3	文学	書評	〔新刊紹介〕心霊と人生(六月号・心霊科学研究所)	
10853	1926/6/13	大正15	3	文学	短歌	〔映画合評 殴られるあいつ〕「殴られる彼奴」十首	井戸口清二
			3	映画	評論	〔映画合評 殴られるあいつ〕合評	吉田龍太郎 北村信昭
			3	文学	詩	初夏	橋本健吉
			3	文学	随筆	日誌の中より 或日曜日の一	野口薫
			3	文学	短歌	病める日の歌	秋田富紗樹
			3	文学	紹介	苦楽(七月号・プラトン社)	
10860	1926/6/20	大正15	3	文学	随筆	日記と少女	和田鴻一郎
			3	文学	詩	梅雨ふる日・山桜の実・風	前尾房太郎
			3	文学	短歌	雨だれの音	山田松蔵
			3	文学	短歌	六月に歌える	清水たけし
			3	文学	小説	死線を彷徨ふ	ケイ・エヌ生
			3	文学	記事	懸賞俳句募集	鍵田材木店懸賞俳句係
10866	1926/6/27	大正15	3	文学	評論	化粧語1	橋本健吉
			3	文学	評論	ニイチエの創作心理の過程に就て	吉田龍太郎
			3	文学	詩	蠟燭はともる・大地のよろこび	西村直輝
			3	文学	詩	素描の詩三篇 わが友ケイに寄せて	吉田龍太郎
10873	1926/7/4	大正15	3	文学	評論	化粧語2	橋本健吉
			3	文学	詩	大阪回想詩篇 吉田龍太郎に	北村信昭
			3	文学	短歌	野うばら集	米田英一
			3	文学	随筆	病日雑記 物珍らしい病院生活 浪速の街を飲んで廻ったあげく	秋田富紗樹
			3	文学	記事	文芸原稿募集	大和日報文芸部
10880	1926/7/11	大正15	3	文学	評論	化粧語3	橋本健吉
			3	文学	詩	思ひ出の雨	宵待草
			3	文学	詩	夏の蝶	前尾房太郎
			3	文学	小説	或る女学生の自殺	西村麦水鳥
			3	文学	詩	Gペンを握りつ 無聊の副産物として	山本泊泊
10887	1926/7/18	大正15	3	文学	評論	化粧語4	橋本健吉
			3	文学	短歌	〔緑蔭集〕雪洞の灯	宵待草
			3	文学	短歌	〔緑蔭集〕つた草	わくら葉
			3	文学	短歌	〔緑蔭集〕六月の郊外	山田松蔵
			3	文学	紀行	七福神詣で	西川林之助
			3	演劇	評論	演劇小論(1) 戯曲構成上に於ける新らしき一つの傾向	阪中正夫
			3	文学	詩	合歓木	堀口詠三



木田・光石：奈良大学図書館蔵北村信昭文庫「大和日報」文芸記事細目

			3	文学	詩		田園風物詩	米田紫洋
			3	文学	紹介		詩神（七月号・詩神社）	
10894	1926/7/25	大正15	3	文学	小説		殺人？ 奇怪な出来事	西村麦水鳥
			3	文学	詩		〔緑蔭集〕銅貨	堀口詠三
			3	文学	詩		〔緑蔭集〕誤解	前尾房太郎
			3	文学	詩		〔緑蔭集〕詩四篇	西川林之助
			3	文学	詩		〔緑蔭集〕七月の田園歌	熊谷直臣
			3	文学			〔消息〕関西新詩選・野長瀬正夫氏・雲（抒情文芸改題）・酒井良夫氏	
10901	1926/8/2	大正15	3	映画	評論		〔映画評論〕生けるバスカル	西本洗
10905	1926/8/6	大正15	3	映画	評論		〔映画批評〕海の野獣	北村信昭
10919	1926/8/22	大正15	3	文学	小説	日報文芸欄	銀座（或る人々の生活に就いて）この1篇を友人北村信昭兄並に吉田龍太郎兄に贈る	橋本健吉
			3	文学	詩	日報文芸欄	朝の風・青蛙・親なしの子・夏ぐもりの日・思ひ出のごと	前尾房太郎
			3	演劇	評論	日報文芸欄	夏の演劇漫筆（一）松竹座	加茂敏夫
			3	文学	随筆	日報文芸欄	産褥熱	水原青浪
			3	文学	随筆	日報文芸欄	〔随筆〕箕座語 漁書趣味について	吉田龍太郎
10925	1926/8/28	大正15	2	映画	評論		獨乙エルメガ社特作 大聖釈尊の一代記「亜細亜の光」中井座に於ける試写を観て	北村信昭
			3	文学	紹介		〔新刊紹介〕文藝（九月号・文藝社）、国民法律（一八六号・国民法律社）、税務相談所時報（三十七号・大阪税務相談所）	
10926	1926/8/29	大正15	3	文学	随筆	日報文芸欄	こつばあ・ほいらあ	平井いさむ
			3	文学	詩	日報文芸欄	七月・八月	野長瀬正夫
			3	文学	短歌	日報文芸欄	葉月集	西川林之助
			3	文学	随筆	日報文芸欄	緑蔭雑筆	熊谷直臣
			3	文学	詩	日報文芸欄	抒情小曲「哀慕の譜」 つつましく滋子様のみ胸にさゝぐ	砂原鈴夫
			3	文学	短歌	日報文芸欄	絵筆	宵待草
			3	文学	短歌	日報文芸欄	雑詠	逸名氏
			3	演劇	評論	日報文芸欄	夏の演劇漫筆（二）角座	加茂敏夫
			3	文学	記事	日報文芸欄	文芸原稿募集	大和日報文芸部
10932	1926/9/5	大正15	3	文学	戯曲	日報文芸欄	〔戯曲〕泥棒志願	眞津井磨
			3	文学	短歌	日報文芸欄	秋	久米葉舟
10939	1926/9/12	大正15	3	文学	評論	日報文芸欄	梶井義夫の詩 その他	松村又一
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔梶井義夫詩集〕薄暮・西瓜の午睡・透明な朝に唄ふ・午睡の詩・ユキ夫の詩（五才）・おもひで・きつ・き・たそがれの思慕	梶井義夫
			3	文学	詩	日報文芸欄	我が欲情・接吻・秋のかなしみ・原生林をゆく・心ゆく春	酒井良夫
			3	文学	詩	日報文芸欄	古びた煙突・夜雨・萩	寺前勉
			3	文学	随筆	日報文芸欄	死楽伴奏（その老）「よしこの」より	秋田富紗樹
			3	文学	詩	日報文芸欄	大村氏近作	大村裕
			3	文学	書評	日報文芸欄	〔ブックレビュー〕関西新詩選その他「関西新詩選」（関西詩人協会）、詩神（九月号・詩神社）、地上楽園（九月号・大地舎）	洗之介
10946	1926/9/19	大正15	3	文学	小説	日報文芸欄	〔創作〕果しない暗黒（上）	松原多香史
			3	文学	詩	日報文芸欄	秋口	北村信昭
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔菘薄集〕朝の散策	ゆめきち
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔菘薄集〕短唱三篇	大賀三郎
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔菘薄集〕落葉の嘆き	前尾房太郎
			3	文学	記事	日報文芸欄	けふ（十九日）は子規忌	
			3	映画	評論	日報文芸欄	〔映画〕パラマウント 滅び行く民族 東京通信	北村信治
10952	1926/9/26	大正15	3	文学	小説	文芸	〔創作〕果しない暗黒（下）	松原多香史
			3	文学	詩	文芸	美学・第3	橋本健吉
			3	文学	詩	文芸	秋が来た・握手（KOさんと私）	堀口詠三
			3	文学	コラム	文芸	〔灰皿〕	北村
			3	文学	小説	文芸	革囊	松下晃
10959	1926/10/3	大正15	3	文学	小説	日報文芸欄	〔短編〕白い煙	嵐也生
			3	文学	コラム	日報文芸欄	〔灰皿〕	北村信昭
			3	文学	随筆	日報文芸欄	死楽伴奏（その二）「よしこの」より	秋田富紗樹
			3	文学	紹介	日報文芸欄	〔ぶつく・れびゆう〕雲（十月民謡号・関西詩人協会）	
10965	1926/10/9	大正15	3	映画	評論		〔シネマ通信〕ダーク・エンゼル「お転婆キキー」その他 喜劇物が盛沢山	K生

奈良大学紀要 第44号

			3	文学	紹介		〔新刊紹介〕地上楽園（十月特別号・大地舎）、 太洋（秋季特別号・其社）、人間味（十月号・ 人間味社）、普選と我等（水野廣徳著・人間味社）	
10966	1926/10/10	大正15	3	文学	詩	日報文芸欄	〔詩集号〕秋	ゆめきち
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔詩集号〕女よ歌へ・秋の夜	西村直輝
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔詩集号〕なやみ	村井義信
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔詩集号〕たばこ・幸福・夜	堀口詠三
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔詩集号〕娘とマンドリン	大賀三郎
			3	文学	詩	日報文芸欄	〔詩集号〕口語歌	河口鏡之助
			3	文学	コラム	日報文芸欄	〔灰皿〕	北村
10968	1926/10/12	大正15	3	文学	紹介		〔新刊紹介〕蠶業紹介（十月号・蠶業新報社）、 世界と我等（十月号・国際連盟協会）、藝天 （三十二号・藝天社）、政友（十月号・立憲政 友会会報局）	
11002	1926/11/17	大正15	2	映画	評論		〔映画時評〕バプテスト教会主催 クオ・ウェア デイスに就いて	北村信明
11006	1926/11/21	大正15	3	文学	評論	文芸欄	関西新詩選雑評	西本洗
			3	文学	詩	文芸欄	魔術主義	橋本健吉
			3	文学	詩	文芸欄	祖母	堀口詠三
			3	文学	詩	文芸欄	愛する友人 北村君に送る詩 印象	吉田龍太郎
			3	文学	詩	文芸欄	秋雨の詩	前尾房太郎
			3	文学	コラム	文芸欄	卓上噴水	信明
			3	文学	記事	文芸欄	本欄愛読者各位に	大和日報文芸部
11012	1926/11/28	大正15	3	文学	随筆		〔日向 新しき村号〕村の現状	古川記
			3	文学	随筆		〔日向 新しき村号〕小感	川島傳吉
			3	文学	随筆		〔日向 新しき村号〕新しき村より	加藤勘助
			3	文学	随筆		〔日向 新しき村号〕感想	松本廣吉
			3	文学	随筆		〔日向 新しき村号〕我等の郷土	杉山正雄
			3	文学	随筆		〔日向 新しき村号〕入村希望者に	福永友治
			3	文学	随筆		百姓	悦田喜和雄
			3	文学	随筆		随想	松尾澤子
			3	文学	雑記		編輯雑記	北村信昭
			3	文学	紹介		〔新刊紹介〕人間味（歳末号・人間味社）	
11019	1926/12/5	大正15	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	祝祭 関西新詩選と東海詩集 その他雑事 二三	野長瀬正夫
			3	文学	短歌	BUNGEI RAN	〔口語歌壇〕	岩井彌・山名 徹・福田米三 郎・福岡しづ・ 清水信
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	〔第二 新しき村号〕「狼」の上演を観て	T・Y・M・
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	〔第二 新しき村号〕武者小路先生をお送りす る心	西久保奈良石
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔第二 新しき村号〕淋しさはひとりで	佐々木秀光
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	〔第二 新しき村号〕よき個人よりより社会へ	仲川明
			3	文学	消息	BUNGEI RAN	〔消息〕奈良新興歌人協会	
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	口語歌募集	
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11026	1926/12/12	大正15	3	文学	随筆		〔第三 新しき村号〕基礎時代	大阪 杉本文彦
			3	文学	詩		〔第三 新しき村号〕夜曲	和歌山 林一雄
			3	文学	随筆		〔第三 新しき村号〕自分へ過失る	金子仙
			3	文学	詩		〔第三 新しき村号〕あの人	東坊城恭長
			3	文学	詩		〔第三 新しき村号〕秋晴れ	熊谷直臣
			3	文学	評論		〔第三 新しき村号〕先生の詩と詩壇	吉田龍太郎
			3	文学	消息		〔消息〕奈良新興歌人協会	
			3	文学	詩		詠草	山名徹・大野建 委・川口鏡之 助・永井耕二 郎・水木町子・ 林八重・音村麗 子・平井いさ む・岩井彌・福 田米三郎・坪内 茂・清水信
			3	文学	記事		口語歌募集	
			3	文学	コラム		卓上噴水	信昭
11040	1926/12/26	昭和元年	3	文学	記事	BUNGEI RAN	奈良新興歌人協会の設立に際して	福田米三郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	幻像 ユキ夫は世にも哀れな不具者です	榊井義夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	心情	加茂敏夫

木田・光石：奈良大学図書館蔵北村信昭文庫「大和日報」文芸記事細目

			3	文学	短歌	BUNGEI RAN	口語短歌	福岡しづ・泉ふじ子
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	子供への詩	中川静村
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11041	1926/12/27	昭和元年	3	文学	紹介		〔新刊紹介〕むぎの穂（童謡集）（山ノ路社）、詩文雑誌 虹（第六号・甲斐詩人協会）、文藝（新年短篇小説号・文藝社）	
11043	1926/12/31 (2)	昭和元年	1	文学	小説		〔新年小説〕春宵挿話	
11043	1926/12/31 (3)	昭和元年	1	文学	落語		落語 十万円	立花家橘三郎
			2	文学	小説		〔新年童話〕兎の恩返し（上）	宵島俊吉・櫻井紅風画
			3	文学	小説	BUNGEI RAN 新年特別号	〔短篇小説〕お伽噺の一節	井戸口清三
			3	文学	短歌	BUNGEI RAN 新年特別号	口語歌壇	音村麗子・水木町子・絹枝・影島一枝
			3	文学	記事	BUNGEI RAN 新年特別号	童話連盟回顧と希望	仲川明
			3	文学	詩	BUNGEI RAN 新年特別号	〔抒事民謡〕春を待ちつゝ	松村又一
			3	文学	詩	BUNGEI RAN 新年特別号	都会回想 大阪の情景 河	堀口詠三
			3	文学	評論	BUNGEI RAN 新年特別号	北村君と詩 関西新詩選を読んで	吉田龍太郎
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN 新年特別号	卓上噴水	信昭
11049	1927/1/9	昭和2	3	映画	記事	BUNGEI RAN	〔詩集号〕〔映画〕原作 おすかあ・わいるど ウ井ンダミア夫人の扇	きたむら・しんせう
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩集号〕情緒派	橋本健吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩集号〕取り越し苦労	西村直輝
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩集号〕私は見た	前尾房太郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩集号〕哀れな夢想家	安田義次
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩集号〕秋の素顔	野長瀬正夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩集号〕自画像	吉田徳義
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩集号〕真夏	北村信昭
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	傑作原稿募集	郷土芸術社
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11063	1927/1/23	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	〔詩壇時評〕夜明前の太陽 大和詩壇の概観	松村又一
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	記号学派（詩型）	橋本健吉
			3	文学	シナリオ	BUNGEI RAN	〔短篇〕シナリオ 牛乳（バター・ペビイ素人製作者の為に）	安田義次
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	ロダンの言葉 S・K 君に	吉田龍太郎
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
11070	1927/1/30	昭和2	3	文学	小説	BUNGEI RAN	〔短篇〕水蜜桃の女	井戸口清三
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	故郷を歌ふ 電柱・ある朝	前尾房太郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔歌〕回想	ゆめきち
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	も一つの婆婆	十道信吉
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	静夜私語 松村又一さんのこと	堀口詠三
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕抒情詩（復活号・抒情詩社）	
11077	1927/2/6	昭和2	3	文学	講演	BUNGEI RAN	現代語新短歌に就て（上）	清水信
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	口語歌	岡田正男・浦久保絹枝・岩井彌
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	断想	杉本文彦
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	童心歌	増田秀治・松本千代子・森尾文子・松尾五郎・吉田元彰・林トミコ・森川正治・森川健治・下田芳子・椿井努
			3	映画	記事	BUNGEI RAN	1926年度 映画界回想	安田義次
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11083	1927/2/13	昭和2	3	文学	講演	BUNGEI RAN	現代語新短歌に就て（承前）	清水信
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕奈良新興歌人協会・松村又一氏・新しき村奈良支部	

奈良大学紀要 第44号

			3	文学	詩	BUNGEI RAN	口語歌 (清水信選)	米田朝子・浦久保絹枝・森田健治・山澤春雨
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	冬日抄	太田まさし
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	冬は、春は	堀口詠三
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	我等が「騎馬隊」の出発と其の陣容 砂丘の改題、和田吾朗の紹介	野長瀬正夫
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔ぶつく・れびう〕耽美 (新年特別号・耽美荘)、騎馬隊 (二月・砂丘詩社)、映画タイムス (二月上旬号・映画タイムス社)	
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11097	1927/2/27	昭和2	3	文学	講演	BUNGEI RAN	現代語新短歌について (完)	清水信
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕関西詩人協会・北村信昭氏・吉田徳義氏	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	雀に	十道信吉
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	大阪の性情非科学的文芸について	秋田富紗樹
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11111	1927/3/13	昭和2	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	散歩と個想	多田文三
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕松村又一氏送別会・若冠連盟解散・太平洋	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	詩六篇	■良
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	或日記	ゆめきち
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	みちゆき	和田吾郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	風	十道信吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	狂ふ情熱	西川林之助
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	詩二篇 木の実・夢	前尾房太郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	植物誌	橋本健吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	冬の駅にて	中川静村
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔ぶつく・れびう〕虹 (第二年第一号・甲斐詩人協会)	
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11118	1927/3/20	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	〔口語歌号3〕口語歌立論	福田米三郎
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕蛇布・郷愁・糸魚川園一氏・炭光任氏	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔青い車掌〕雨	壺原坤
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔青い車掌〕路のとう	泉ふち子
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔青い車掌〕青い車掌	清水信
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	炭光任氏著「旅がらす」をよむ	伊東音次郎
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11124	1927/3/27	昭和2	3	文学	小説	BUNGEI RAN	〔短篇小説〕街と港	井戸口清三
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕新作家協会設立・歌の会	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	みんなで話し合ふ夜	十道信吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔新しき村の詩〕鶯の鳴いた朝	櫻井石
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔新しき村の詩〕結婚の前日	花栗實郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔新しき村の詩〕梨の花咲く頃	岡西喜治
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	口語歌 ヴァイルディング	山名徹
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11137	1927/4/10	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	奈良県童話連盟の将来と使命	連盟理事 西久保奈良石
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	記号学派	橋本健吉
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕松村又一氏・詩歌随筆発刊・奈良詩人会創立・新作家協会・涙壺・蛇布	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	大和回想	秋田富紗樹
			3	文学	小説	BUNGEI RAN	瞳の化粧	西本洗
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	唇をかむ Fにおくる	中川静村
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	春悩と少女	和田吾朗
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	春	濱十九二
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11044	1927/4/17	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	〔口語歌号〕地下鉄サム 交響楽	福田米三郎・岩井彌・山名徹・大野建魏・壺原坤・清水信
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕石原純博士歓迎会・地下鉄サム	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	地下鉄サムの歌	福田米三郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔口語歌〕舗道に落ちた銀紙	大西荒夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔口語詩〕	岩井彌

木田・光石：奈良大学図書館蔵北村信昭文庫「大和日報」文芸記事細目

			3	文学	記事	BUNGEI RAN	第一回 奈良歌の会詠草	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	病んだ春	山名徹
11052	1927/4/24	昭和2	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	流刑時代 ドストエフスキイの手紙より	吉田龍太郎
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕新作家協会・オアシス同人社・関西詩人協会・北村信昭氏	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	深山鶯・雲雀・眼にしむ青葉・友の去つた寺	酒井良夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	春五篇 宿がぬ・酔つばらいと電車・夢・街・夜	堀口詠三
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩篇〕昨日今日のうた三首	伊東音次郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩篇〕航海小曲	前尾房太郎
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
11157	1927/5/1	昭和2	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	郊外雑筆	松村又一
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	はじらひ	井上好澄
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	ロシア映画に就て	安田義次
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	小曲 晩春の雨	フクタ・キヨミ
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔ぶつく・れびう〕詩集秋の花束（井上好澄著）	信昭
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	手紙かくころ	十道信吉
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	サム関言	大西荒夫
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔新刊雑誌〕詩神（五月号・詩神社）・どんづりば（創刊号・白山文芸協会）	
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
11164	1927/5/8	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	第一回新作家協会号 新作家協会を創る	松本嵐一
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	偶感	杉本文彦
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕新作家協会同人の氏名住所をしるす	
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	エム子	藤堂晴美
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	ある感想	吉田龍太郎
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	随想	近藤晴美
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	季節の色 松村又一氏に	北村信昭
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	童心風景	井戸口清二
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	
11178	1927/5/22	昭和2	3	映画	評論	BUNGEI RAN	映画漫評「ワリエテ」を観る	きらむら・しんせう
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	野火をたく	中川静村
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	ぼくの「死」	十道信吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	初夏の頃	前尾房太郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	赤いハート	奥野俊一
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	春愁	フクタキヨミ
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	小品 時計二題	松本嵐一
11185	1927/5/29	昭和2	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	五月の夜	加茂敏夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔民謡〕波紋	林野貞夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	初夏六月	村岡清春
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	野	堀口詠三
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩二篇〕むづかり・くされ	十道信吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	青春	青丹よしを
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	写真	柴田清郎
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔新刊紹介〕神道の友（六月号・双人社）	
11204	1927/6/17	昭和2	3	文学	小説		〔創作〕残された男	好孝生
11205	1927/6/19	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	郊外から「奈良詩人」短評	松村生
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	酒盃	十道信吉
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	奈良詩人 創刊号読後感	西谷熊雄
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕新しき村奈良支部・童心発刊・奈良詩人会	
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	煙突屋	柴田清郎
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔ぶつく・れびう〕山中杏著『口語歌集傷心の雨』（東洋大学詩人協会）	
11211	1927/6/26	昭和2	3	文学	詩	BUNGEI RAN	肖像	松下晃
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	六月	榊井義夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	浮彫	十道信吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	午後	寺前勉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	小曲 ためいき	きむら・まさお

奈良大学紀要 第44号

			3	文学	短歌	BUNGEI RAN	君に送る	西上芳翠
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	さいきょううごつき	堀口詠三
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
11218	1927/7/3	昭和2	3	文学	小説	BUNGEI RAN	〔創作〕一本の巻煙草	松本嵐一
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	初夏三章	嵯峨根あきら
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	断章	ゆめきち
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	断章・前尾房之助兄に	吉田徳義
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔しんかん〕詩神（七月号・詩神社）・愛の使（百号・光友社）	
11225	1927/7/10	昭和2	3	文学	脚本	BUNGEI RAN	〔戯曲〕医師の子（一幕）	幸田文雄
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	母の瞳・矢車草	山崎彌須三
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	鮎と鯉	柴田清郎
11232	1927/7/17	昭和2	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	山莊雜記	野長瀬正夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩三篇〕真夏の午後二時—従弟の恋を祝福する・夏雲・燕	十道信吉
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	〔小品〕私のラヂオ	柴田清郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	夏の夜	唐古洗之介
			3	文学	日記	BUNGEI RAN	七月の日記	堀口詠三
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	さみだれ情景	松本嵐一
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	口語歌雑誌 詩童子 創刊	
11239	1927/7/24	昭和2	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	間違へた姉妹	南信
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	魚と月と花	橋本健吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	初夏	野長瀬正夫
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔しんかん〕奈良詩人（七月号・奈良詩人会）	
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
11246	1927/7/31	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	〔劇評〕宝塚のハムレット	加茂敏夫
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕松村又一氏・吉田龍太郎・新しき村奈良支部	
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	我がこと	吉田龍太郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	兵隊蜘蛛の円舞曲	橋本健吉
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	革囊	松下晃
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11253	1927/8/7	昭和2	3	文学	小説	BUNGEI RAN	〔短篇〕山の殺人者	幽夜静子
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	夏の日の感情	橋本健吉
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕文壇三家紀州入り・千家元磨氏・野長瀬正夫氏	
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	永日寝語 数片	杉本文彦
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	夕暮・小曲一篇	前尾房太郎
11260	1927/8/14	昭和2	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	手紙の一節 ある同志の友へ	渡邊三郎
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕永井叔氏・松村又一氏・詩歌随筆発刊中止・帝大助教授中村直勝氏・内藤湖南博士	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	空気の薔薇	橋本健吉
			3	文学	短歌	BUNGEI RAN	秋立つ頃	みなみ・しん
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	提灯に菓食ふ	十道信吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	日まはり	天恵
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	狂人詩情	南信
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔童詩二篇〕郭公・すみつちよ	前尾房太郎
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔新刊雑誌〕詩神（八月号・詩神社）・どんづりぼ（四号・白山文芸協会）・ローマ字（七号・ローマ字ひろめ会）	
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11266	1927/8/21	昭和2	3	文学	紀行	BUNGEI RAN	〔紀行〕松尾の滝まで	松本嵐一
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕雲第三次復活・松村又一氏	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	海は憂鬱である	屋谷伸
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	詩童子 創刊号（詩童子社）	
			3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	香港だより	宮川満水
11271	1927/8/26	昭和2	3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
11273	1927/8/28	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	詩童子淡彩語 創刊号	瀧造寺俊
			3	文学	俳句	BUNGEI RAN	秋雑句	小山朱呂城
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	掌評	浅野源兒
			3	文学	短歌	BUNGEI RAN	感傷の秋	みなみ・しん
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	朗かさ一点の汚点	十道信吉

木田・光石：奈良大学図書館蔵北村信昭文庫「大和日報」文芸記事細目

			3	文学	評論	BUNGEI RAN	奈良詩人短評 第二号	吉田徳義
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩二篇〕汗・恋	藻兎草
11280	1927/9/4	昭和2	3	文学	小説	BUNGEI RAN	東前草の咲いてゐる短篇	橋本健吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	はかなさ	沖次郎
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	春日野短評 八月号 其の一	小山朱呂城
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	クラスメートの会即興	十道信吉
			3	文学	民謡	BUNGEI RAN	〔民謡〕娘いつたが	西川林之助
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	琵琶湖畔にて	藻兎草
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	サイゴンから	宮川満水
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	フットボール讃歌 友前尾兄に贈る	榊井義夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	燈・無題	前尾房太郎
11287	1927/9/11	昭和2	3	文学	小説	BUNGEI RAN	〔短篇〕電報	松本風一
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	潮の岬遊行詩篇 彼の日われと語り、白き水 平服の少女へ	野長瀬正夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	味覚の秋	みなみ・しん ゆめきち
			3	文学	短歌	BUNGEI RAN	無花果	
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕子規忌句会・詩童子社	
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	雲 復活号	
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	詩童子（第二号）近く発行	
11294	1927/9/18	昭和2	3	文学	談話	BUNGEI RAN	人生と文芸 世人の誤解と新旧道徳 併せて 女学校の恋愛教育に及ぶ	菊池寛氏談
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	官能と散歩する 若きママの野菊におくる	みなみ・しん
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	闇にきえゆく怒り	十道信吉
			3	映画	記事	BUNGEI RAN	関西映画人協会創立	
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔新刊雑誌〕民謡詩人（創刊号・力行堂書店）	
			3	文学	コラム	BUNGEI RAN	卓上噴水	信昭
11300	1927/9/25	昭和2	3	文学	戯曲	BUNGEI RAN	〔戯曲小品〕三人（一幕）	丘潤二
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	初夏の樹影・真夏の朝・夜の街頭	屋谷伸
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	このひかりをみよ	十道信吉
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	古川柳に就て（上）	
11313	1927/10/9	昭和2	3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔詩集号〕日没の歌	ホイットマン 吉田龍太郎訳
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔八重詩集〕池畔風情	前尾房太郎
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕野長瀬正夫氏・西谷勢之介氏・ 岡本咲子氏・秋田富紗樹氏・熊谷直臣氏	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔八重詩集〕〔詩二篇〕五分間・黄昏のしじま	青丹よしを
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔八重詩集〕郊外の朝	中前新八郎
			3	文学	民謡	BUNGEI RAN	〔八重詩集〕〔民謡二篇〕中禪寺・近江の唄	竹島廣吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔八重詩集〕夜の庭	吉田龍太郎
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	〔八重詩集〕憂鬱な散策	榊井義夫
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	地震	十道信吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	紫蘇の花ときつね草	ゆめきち
			3	文学	評論	BUNGEI RAN	古川柳に就て（下）	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	南国の恋人へ	みなみ・しん
11316	1927/10/12	昭和2	3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
11320	1927/10/16	昭和2	3	文学	随筆	BUNGEI RAN	〔随筆号〕月	松本風一
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	無題	前尾房太郎
			3	映画	評論	BUNGEI RAN	〔映画〕ドン・ファンと栄光	赤木洗
			3	文学	短歌	BUNGEI RAN	短歌 秋風集	井戸口清二
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	秋鹿（日記の一節）	北村信昭
			3	文学	随筆	BUNGEI RAN	逃げた小鳥	杉本文彦
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	山よ	堀口詠三
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔につぼう抄〕西川林之助氏・林野貞夫氏・加 茂敏夫氏・西本洗氏・詩童子	
11322	1927/10/19	昭和2	3	文学	記事	BUNGEI RAN	文芸原稿募集	大和日報文芸部
11326	1927/10/23	昭和2	3	文学	小説	BUNGEI RAN	〔短篇〕耽溺	井戸口清二
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	中宮寺	西川林之助
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	新秋の月・灯が明るい・向日葵・月の野道・ 病んで永いOさんへ・曼珠沙華	尾谷伸
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	雨の雲井坂（スケッチ）	南しん
			3	文学	民謡	BUNGEI RAN	日本八景 民謡	竹島廣吉
			3	文学	短歌	BUNGEI RAN	短歌 旅日記より	竹島廣吉
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	交差点	沖次郎
			3	文学	紹介	BUNGEI RAN	〔せうかい〕文化（十月創刊号・石川春男方）	
11366	1927/11/5	昭和2	3	文学	短歌	秋田富紗樹追悼号	辞世	秋田富紗樹
			3	文学	随筆	秋田富紗樹追悼号	富紗樹の病後から死までのこと	熊谷直臣

奈良大学紀要 第44号

			3	文学	随筆	秋田富紗樹追悼号	追憶	米澤二郎
			3	文学	随筆	秋田富紗樹追悼号	追想	笠井宥章
			3	文学	随筆	秋田富紗樹追悼号	今はなき富紗樹のことばも	濱まもる
			3	文学	随筆	秋田富紗樹追悼号	富紗樹を悼む	野長瀬正夫
			3	文学	随筆	秋田富紗樹追悼号	彼と僕達 秋田富紗樹君を憶う	北村信昭
			3	文学	短歌	秋田富紗樹追悼号	[哀悼短歌集]	濱まもる・米田英一・武田三郎・熊谷直臣
			3	文学	コラム	秋田富紗樹追悼号	後記	熊谷記
			3	文学	コラム	秋田富紗樹追悼号	卓上噴水	信昭
			3	文学	記事	秋田富紗樹追悼号	お礼	
			3	映画	記事		映画原稿募集	本社キネマ部
11339	1927/11/6	昭和2	3	文学	評論	BUNGEI RAN	政治運動屋の心理	西村直輝
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	真面目な男の恋	沖次郎
			3	文学	俳句	BUNGEI RAN	淡路島 奈商四年修学旅行	
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	十の指	ゆめきち
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	朝	堀口詠三
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	搾取だ	黄紐蘭
			3	文学	詩	BUNGEI RAN	小曲 同性の人へ	みみづく
11401	1928/1/15	昭和3	3	文学	詩		[詩集号] お、デモクラシイよ	ホイットマン 吉田龍太郎訳
			3	文学	詩		[詩集号] 瞳	前尾房太郎
			3	文学	詩		[詩集号] 曲馬団の少女に捧げる詩	榊井義夫
			3	文学	詩		[詩集号] 遺稿 短唱病愛	秋田富紗樹
			3	文学	紹介		[につばう抄] 野長瀬正夫氏・吉田徳義氏・西本光氏	
			3	文学	詩		[詩集号] 或る晩	幸田暁夢
			3	文学	詩		[詩集号] 船乗りの唄	西川林之助
			3	文学	詩		[詩集号] 憂鬱になつた時計	堀口詠三
			3	文学	記事		[寄贈新刊] 木馬(岡本咲子詩集・麦風社)・一つのみ(松村又一民謡集・麦風社)・河原よもぎ(西川林之助民謡集・麦風社)・うすなげ(林野貞夫民謡集・麦風社)	信昭生
12728	1932/1/1	昭和7	3	文学	評論		国際共通語 エスペラントに就いて(一)	奈良エス会員 北村信昭
			5	文学	童話		[新年童話] 猿料理(一)	進藤進 井口文秀画
12729	1932/1/3	昭和7	3	文学	評論		国際共通語 エスペラントに就いて(二)	奈良エス会員 北村信昭
			3	文学	短歌		短歌	藤川静子・北村信昭他
12733	1932/1/8	昭和7	3	文学	詩		夜明け近くに	野葡秋
12732	1932/1/9	昭和7	3	文学	評論		南洋の民謡と民話	宮武正道
			3	文学	詩		忠治旅小唄	太田利夫